

開発・厚生委員会報告

担当 岡本

1. 宇治茶ペットボトル販売実績について

令和3年度月別販売実績 500ml サイズ (R3.10.1~10.31)

10月販売	数量(ケース)	売上(千円)	前年比	年間数量(ケース)	年間前年比
平成25年	1,481	2,488	47%	15,291	85%
平成26年	1,176	2,002	80%	13,489	88%
平成27年	838	1,432	72%	14,018	104%
平成28年	1,341	2,286	160%	16,582	118%
平成29年	1,198	2,043	89%	15,145	91%
平成30年	1,258	2,087	102%	15,188	100%
平成31年	1,417	2,468	118%	15,375	101%
令和2年	406	599	24%	6,633	43%
令和3年	584	996	166%	5,706	-

令和3年10月の販売数量は、昨年対比では約60%増となっている。昨年のコロナ禍の状況より、少しずつ回復しているが例年通りの販売数量には至っていない。今後も引き続き、販売推移をみながら製造を行っていく。

2. 京都宇治玉露「玉兎」について

10月の販売数量は、74ケース。

(本年度累計販売数：1558ケース)

緊急事態宣言が解除された当初は、販売数量の増加を期待していたが、実際は最終卸先(ホテル・料理店等)の客足が戻っておらず、期待していた販売数量(前年：144ケース)に至っていない。

今後は、首都圏をはじめ他府県へ販路拡大を進めるため、京都府以外の卸業者への販売を検討していく。

宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会の予算を活用し、JAL国内線ファーストクラスで「玉兎」を提供する予定。取扱数量は、4000本(約167ケース)を予定している。

以上